

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	町民記者・クリエイター養成ワークショップ&事前・事後イベント事業
事業主体 (連絡先)	ヤッツメディア 080-4208-7989
事業区分	① 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	588,582円 (うち支援金: 470,000円)

事業内容

三年目となった今回は、第二回実施後、メディアラボと題して、アフターフォロー講座を実施。述べ15人がラボへ参加、さまざまなメディアに関する情報交換を行った。また本講座のメインとなる全6回からなる「町民記者・クリエイター養成ワークショップ」においては、11人の受講生達が参加。5ヶ月間で取材先選定、取材依頼、実取材、原稿執筆、映像制作までを行った。3名から4名1組で1人に取材を行い、記事と動画コンテンツを作り上げた。

また今回は3年目で初の試みとなるラジオ放送にも挑戦し、町民ゲスト1名のラジオ放送をすることができた。(LCV ラジオにて3月放送済み。音源のみアプリにて視聴可能 「LCV ラジオ ヤマノヒト」
http://lcvfm769.jp/?page_id=59#p19)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 朝日新聞出版の講師(地域外)、町民(地域民)、主催団体ヤッツメディアの3者による交流がはかられるとともに、受講者の町民にとっては、今後の継続的な記者活動を通して、未知の町民(取材対象者)と数多く出会うこととなった。
- ② 取材を通じ、記事と動画で町の魅力を表現することでその町の魅力を再発見でき、埋もれていた資源に光をあてることができた。受講生それぞれが講座への価値を見出し、講座終了後ももっと学びたいという意欲を見せてくれている。学んでいただいた力を存分に多方面で発揮していただけるはずである。
- ③ 受講生が選出した富士見町在住のスポーツ少年団を創設者の関敏幸さんに出演いただき、講座初となるラジオ放送を実施。ゲストには全国トップレベルのスキーヤーである少年団の女子高校生も出演いただき、放送地域に富士見町で活躍する人を広く紹介できたことはなによりの成果であると自負している。

<http://sen-nin.life/2020/03/09/team2-sekisan/>



(活動写真)

【目標・ねらい】

- ① 「町民同士の新たな出会いを作り、コミュニティー内の相互理解」
- ② 「町民自らが自分たちのコミュニティーにプライドを持ち、埋もれた資源の再発見、再発掘を目指す」
- ③ ライティングスキル、動画編集スキルの向上

※自己評価 【A】

【理由】3年目を迎えた講座だが、受講後の活躍の場として、全国版のローカルメディア(<https://localletter.jp>)を始め、公民館だよりなど、講座がきっかけとなってさらなるステップアップする受講生が3名でた。ほかの受講生も活躍の場は違えど、それぞれの立場で取材、発信をしていきたいと意気込みを語ってくれた。仕事につながる案件も今年も継続して発生中。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本事業の翌年以降(令和2年度以降)の取り組みとして

- (1) 印刷媒体(フリーペーパー)の制作、印刷、配布 → 予算どり(スポンサード)から計画中
- (2) 卒業生による富士見町公民館報記者への推薦、及び、webサイト(会員4000人程)
「前略 ふるさとが好きになるメディアです Local letter」<https://localletter.jp>への取材、
記事執筆が決定 → 受講者に呼びかけ中
- (3) ラジオ&インターネットライブを用いた取材者、取材対象者の紹介
その他、民間のフリーペーパー等、希望する媒体に積極的に活動とコンテンツ内容を提供していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある